

第 114 回沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部会議

議事概要

日 時：令和 3 年 7 月 26 日(月) 10：30～11：30

場 所：県庁 6 階 第 1・2 特別会議室

○ 会議の概要

<報告事項>

- ◇ 県内における新型コロナウイルス感染症の感染者数や広がりについて、それぞれ所管する本部員から報告があった。

<議題事項>

- ◇ 感染状況を踏まえた新たな取組について、今回の対策本部会議で出された意見を踏まえ、関係部局が連携して取り組むことを確認した。

1 参加者

玉城 知事、謝花 副知事、照屋 副知事、島袋 政策調整監、金城 知事公室長、池田 総務部長、宮城 企画部長、松田 環境部長、日下 県警本部長、大城 保健医療部長、名渡山 子ども生活福祉部長、崎原 農林水産部長、島袋 土木建築部長、嘉数 商工労働部、宮城 文化観光スポーツ部、大城 会計管理者、金城 教育長、我那覇 病院事業局長、棚原 企業局長、諸見里 医療企画統括監、糸数 保健衛生統括監、
テレビ会議システム利用：木村 宮古保健所長、比嘉 八重山保健所長

2 報告事項

(1) 沖縄県内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

- 総括情報部から最新の新規陽性者及び療養者の状況について報告【資料 1】
 - ✓ 7/25 の新規発生は 209 名、合計 22,731 名、入院中 329 名、うち重症 2 名、うち中等症 230 名、入院調整中 207 名、宿泊施設療養中 250 名、自宅療養 400 名で療養中患者計 1,221 名となっている。

(2) 米軍基地内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

- 総括情報部から、米軍基地内における発生状況について報告。【資料 2】
 - ✓ 7/24 時点、米軍基地内で 13 名。
 - ✓ 米軍に対しデルタ株の検査を行い、県と情報を共有するよう調整しているところで

ある。

(3) 沖縄県内及び全国の感染状況について【資料3、3-1~3-8】

- 総括情報部から、警戒レベル判断指標の状況や各種分析資料について報告。
 - ✓ 療養者数及び新規感染者数は、第4段階にあり、引き続き感染まん延期にある。
 - ✓ 療養者数及び新規感染者数は1週間前に比べて、ほぼ2倍になっており、大幅に増加している。
 - ✓ 病床占有率、感染経路不明な症例の割合、新規PCR検査の陽性率は、第3段階にある。
 - ✓ 国の判断指標では、療養者数、重症者用病床占有率、新規感染者数がステージⅣの段階にある。
 - ✓ 非コロナ病床の利用率は92.8%となっている。
 - ✓ 直近1週間の人口10万人あたりの新規陽性者数は、53.47で、全国ワースト2位の状況。
 - ✓ 各保健所管内の新規感染者数比較について、那覇、中部、南部、北部の保健所管内で大きく数値が上昇している。
 - ✓ ワクチンの効果により、60歳以上の感染者の割合は減少してきている。

(4) 宿泊施設の運用状況について【資料4】

- 総括情報部から、宿泊療養施設の入居状況等について報告。
 - ✓ 那覇市は2カ所が稼働しており、東横イン旭橋駅前で125人、ソルヴィータホテル那覇で98人が療養している。
 - ✓ 他の地域については、北部で16人、宮古で16人が療養中となっている。

(5) 沖縄県人口変動状況について【資料5】

- 総括情報部から、KDDI Location Analyzerによる分析結果を報告。

- ✓ 繁華街エリアでは先週に比べ人流が減少しているが、商業エリア及び空港エリアでは、人流が増加している。

(6) クラスターの発生状況について

- 総括情報部から、最近確認されたクラスターの発生状況等について報告。
 - ✓ うるま市の病院、社会福祉施設において大きなクラスターが発生している。

(7) 宮古・八重山地域の感染状況について【資料6】

- 総括情報部から、宮古・八重山の感染状況について報告。
 - ✓ 宮古では7/21に7名が確認されたが、その後は台風の影響もあり、7/22に1名の感染者が確認されたのみである。
 - ✓ 宮古では、30代から40代の県外への渡航者や県外からの移住者の感染事例が確認されている。
 - ✓ 八重山については、7/22に2名、7/25に3名の感染者が確認されており、今後の感染拡大に注意が必要。

(8) 変異株について【資料7】

- 総括情報部から、変異株の解析状況及び患者発生状況について報告。
 - ✓ 7月第4週は、計205件の検査を実施したところ、その内69件がL452R（デルタ株）陽性であった（33.66%）。
 - ✓ L452R（デルタ株）については、特に中部保健所管内で多く確認されている。

(9) PCR検査事業の実施状況について【資料8】

- 総括情報部から、検査事業実績について報告。
 - ✓ エssenシャルワーカー定期PCR検査の実績について、先週（7/19～7/23）は、

障害者施設関係者 1,734 人が受検した結果、2 人が陽性であった。また、介護施設及び保育施設関係者については、陽性者は確認されなかった。

- ✓ 安価な PCR 検査補助の実績について、先週（7/16～7/22）は 6,524 人が受検した結果、陽性者 98 人、陽性率 1.50%であった。
- ✓ 飲食店検査の実績について、先週（7/17～7/23）は 95 人が受検した結果、陽性者 4 人、陽性率 4.21%であった。
- ✓ モニタリング検査の実績について、7/12～7/18 は、2 人が受検した結果、陽性者は確認されなかった。
- ✓ 学校 PCR 検査の実績について、先週（7/17～7/23）は 1,303 人（35 校）が受検した結果、陽性者 5 人、陽性率 0.38%であった。

（10）ワクチン対策チーム進捗状況について【資料 9-1, 9-2】

- 総括情報部から、医療従事者向け進捗状況と、住民向け進捗状況について報告。
 - ✓ 7/25 時点で、高齢者については 257,809 人（79.86%）が 1 回目のワクチン接種を完了しており、194,996 人（60.28%）が 2 回目のワクチン接種を完了している。
 - ✓ 全住民（医療従事者除く）で、1 回目のワクチン接種を完了した人は 368,435 人（24.87%）。また、2 回目までワクチン接種が完了した人は 221,157 人（14.93%）となっている。
 - ✓ 職域接種については、県内で 56 件の申請があり、その内、県の承認を受けたものが 55 件、国の承認まで受けたものが 18 件となっている。
 - ✓ ワクチン接種について、これまでに 42 件の副反応疑いの事例が報告されており、その内、重篤な事例が 17 件、死亡事例が 7 件となっている。

（11）NAPP・TACO・RICCA の運用状況等について【資料 10】

- 文化観光スポーツ部から、空港 PCR 検査プロジェクト・TACO・RICCA の状況について報

告について報告。

- ✓ 空港 PCR 検査プロジェクトについて、7/19 の週の受検者は 1,466 名で、その内 14 名が陽性であった。
- ✓ TACO について、7/19 の週のサーモグラフィー通過者は 79,313 人、その内発熱者は 0 人であった。
- ✓ RICCA について、7/23 時点の登録者数は 104,855 人となっている。

(12) 緊急事態宣言下の取組状況について

- 総括情報部から、緊急事態措置早期解除に向けた取組の実施状況について報告。【資料 11-1】
 - ✓ 知事が県外報道番組（7/20）に出演し、メッセージの発信を行った。
 - ✓ 空港、交通機関等における注意喚起のチラシ配布を行った。（7/21～7/24）
 - ✓ 那覇市、北谷町、石垣市の繁華街における巡回、チラシ配布を実施した（7/21～7/25）。
なお、巡回については今後も週 2 回の実施を予定している。
 - ✓ 時間短縮営業・休業の命令を守らない店舗に対する過料の手続については、7/21 付けで裁判所に対し、命令違反の通知を実施した（29 件）。
 - ✓ 沖縄県感染拡大防止対策協力金の先行給付について、7/19 から受付を開始している。
- 総括情報部から、県設置ワクチン接種会場の状況について報告。【資料 11-2】
 - ✓ 沖縄コンベンションセンター会場では、接種回数 24,522 回、接種実績人数 19,356 人、2 回接種終了者 5,166 人となっている。
 - ✓ 県立武道館アリーナ会場では、接種回数 21,079 回、接種実績人数 18,853 人、2 回接種終了者 2,226 人となっている。
 - ✓ 那覇クルーズターミナル会場では、接種回数 1,677 回、接種実績人数 1,677 人、2 回接種終了者 0 人となっている。

(13) 各部署の取組状況等について

- 各部署の取組状況等については、【資料12】を示し、説明を割愛。

(14) その他報告事項について

- 病院事業局から、県立病院の状況等について報告。
 - ✓ 7/26時点の県立病院の入院患者数は106人となっており、先週(47人)からほぼ倍増している。県全体の入院者数に占める割合は36.4%となっている。
 - ✓ 精和病院についてコロナ患者用の病床の増床を検討しているが、看護師確保が課題となっており、県立病院間で調整中である。
 - ✓ 5月下旬に発生した中部病院のクラスター事例について、累計で51人の感染が確認されており、その内、亡くなった方は20名である。なお、6/18以降、新たな感染者は確認されていない。
- 総括情報部から、飲食店関連の発生状況、移入例の状況について報告。【資料11-3, 11-4】。
 - ✓ 飲食関係が推定感染源である陽性者(7/18~7/24)は、55人となっており、増加傾向にある。
 - ✓ 移入例の陽性者数(7/13~7/19)は、28人であり、こちらも増加傾向にある。
 - ✓ 7月以降、県民が仕事等で県外に渡航した際の接触感染事例、来沖者との会食での感染事例が増加している。

(報告(1)~(14)に関する発言等について)

- 知的障害者施設入所者に対するワクチン接種の取組について質問があった。
→総括情報部から、子ども生活福祉部、市町村と連携しながら知的障害者施設入所者に対してワクチン接種を進めると回答。

→子ども生活福祉部から、知的障害者施設についても高齢者施設と同様に連携医療機関によるワクチン接種を実施していることを説明。また、連携医療機関がない等の理由で対応できていない施設の状況については調査中であり、市町村と連携しながら対応していくと説明。

- 沖縄県感染防止対策認証制度について、現時点での申請数及び認証数の質問があった。

→総括情報部から、7/21 時点で申請数が 1,709 件、認証数が 829 件であると回答。

- 那覇クルーズターミナルワクチン接種センターのワクチン接種の状況及び今後の対応について質問があった。

→総括情報部から、7/22～7/25 の期間、那覇クルーズターミナル会場において 1,667 回の接種を実施したこと、7 月中は 1 日あたり 500 件のワクチン接種を予定していること、8 月以降はワクチンの確保状況も踏まえて接種を進める予定であることを説明。

- 優先接種対象者（エッセンシャルワーカー）の接種状況はどうなっているか質問があった。

→総括情報部から、エッセンシャルワーカーについては各部局において対象者を取りまとめ、接種を実施していると回答。

→総務部から、警察官、県立学校職員等については、先行して設置されている沖縄県コンベンションセンター会場等で接種が進められていることを報告。また、職域接種を希望しているが、国の承認が得られてない団体について、県の広域ワクチン接種センターを活用した接種を検討していることを報告。

3 議題

(1) 感染状況を踏まえた新たな取組について

- 総括情報部から、沖縄県衛生環境研究所による県内感染状況の分析結果等について説

明。

- ✓ 7/25 の新規陽性者は、10代から30代が特に多くなっており、これまでの高齢者中心の傾向が変化してきている。
 - ✓ 居住地別で見ると、那覇、中部、南部で新規陽性者の多数を占めている。
 - ✓ 直近1週間のPCR検査の陽性率は6.5%となっている。
 - ✓ 7/19の週の職業別陽性者数は、飲食業53人、建設業41人、医療・介護関係29人、公務員12人、教育関係6人、その他サービス業等39人、大学生31人、小中高生87人、無職89人となっている。
 - ✓ 住民が自発的に受検する希望者検査で、陽性が判明する事例が約10%を占めており、検査のニーズが高いことが推察される。
- 上記分析結果等を踏まえ、総括情報部から新たな取組の内容を説明。
- ✓ 職業別で見た場合、建設業に従事する方の感染者数が増えているが、これまで建設業にフォーカスした取組を実施していないことから、土木建築部と連携しながら、PCR検査やワクチンの職域接種の推進等を進める。
 - ✓ 小中高生の陽性者が87名と増えていることから、家庭内感染の防止、学校・クラブ・習い事での感染防止等について、対策を強化する。

(議題(1)に関する発言等について)

- ✓ 建設業における感染抑制のためには、実態の把握、ワクチン接種・PCR検査の推進、現場での感染防止対策の徹底等を進める必要があり、そのためには沖縄県建設業協会等の関係団体を通じて密に意見・情報交換を行う必要があるとの意見があった。
- 総括情報部及び土木建築部から、関係部局が連携して業界団体に対し、感染防止対策の徹底、ワクチン接種の推進、PCR検査等の活用について働きかけを行うと回答。

- ✓ 小中高生における感染抑制のためには、各市町村の教育委員会と連携した対応を検討する必要があるとの意見があった。

→教育庁から、関係機関に対し、「県立学校における地域の感染レベルに応じた感染症対策等について」を通知したほか、保護者と学校間のネットワークを活用した情報提供の仕組みを整備していることを説明。また、家庭内で実施すべき感染防止対策について、総括情報部と意見交換を行いながら、発信していく予定であると回答。

→総括情報部から、家庭内で実施すべき対策等について整理し、教育庁と共有すると回答。

- ✓ 県民の不安を解消し、県の取組に対する理解を得るためにも、新型コロナウイルス感染症が流行の原因や各種データの解釈について、しっかりと情報を提供していく必要があるとの意見があった。

→総括情報部から、今後も衛生環境研究所等とも連携しながら、正確な情報の分析及び情報提供に努めると回答。

- ✓ 保健所との連携強化に関する取組内容について質問があった。

→総括情報部から、各保健所と意見交換を行い、保健師の増員等に取り組んでいると回答。

- 最後に、議題（１）で提案のあった「感染状況を踏まえた新たな取組」について、今回の対策本部会議で出された意見を踏まえ、関係部局が連携して取り組むことを確認した。

4 その他

特になし。

5 閉会